

## 道具の紹介①～筆ペンで練習したい方

本書では主として筆ペンを使用し、小筆も使用します。

- ①筆ペン※本書では主にぺんてる製の筆ペン(中学及び短縮)を使用して手本を製作しました。  
 ②コピー用紙：巻末のフォーマットをコピーするか、パソコンのエクセルを使用し、マス目を作り、出力して使用するとよいでしょう。

上記だけで手軽に練習できます。

その他ペーパーウエイトなどがあると気分よく練習できます。

③ペーパーウエイト

④便箋、葉書

①筆ペン



④便箋



④葉書



③ペーパーウエイト



〈筆ペンの持ち方〉



親指と人さし指で軸を支え、中指を軽く添えます。  
 手の平は固くならないようにしましょう。  
 軸の角度は小筆の場合が最も垂直に近く、筆ペンは小筆と同じ角度か、やや斜めにします。  
 参考までに、ボールペンの場合の持ち方との軸の角度の違いも確認しましょう。

〈小筆の持ち方〉



〈ボールペンの持ち方〉

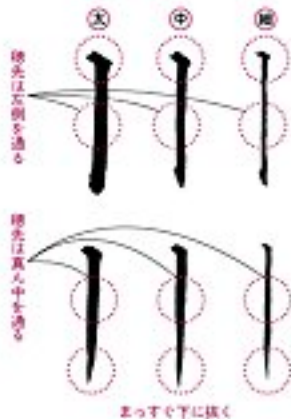


## 筆ペンに慣れるためのウォーミングアップ

- ・文字は様々な線を組み合わせてできています。
- ・まずは8つのパターンの色々な線を書いて筆に慣れましょう。

### ② 縦線を書いてみましょう

上から下へ様々な太さで書いてみましょう。



### ① 横線を書いてみましょう

鉛筆で太さを決めたらそのまま横に書いていきます。細い線、太い線など書いてみると様々な表現ができることに気がつきます。



### ④ ジグザグの線を書いてみましょう

折れ曲がるところでしっかり止めて、逆方向に筆を動かして書いてみましょう。



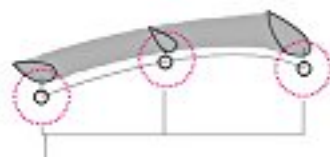
### ③ 波線を書いてみましょう

波線では横先の通る位置の変化にも注意しましょう。



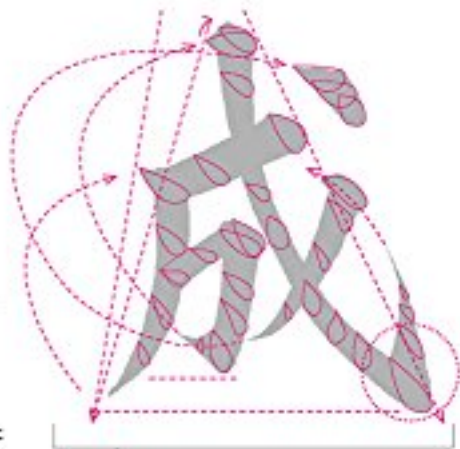
## ④ 穂先の通る位置と気脈

基本線の書き方で大切なことは穂先の通る位置です。穂先の通る位置が正しくないと、美しい線は書けません。縦画や横画、はね、払いなどの基本線(P18～P37)では、穂先がどこを過ぎていくかを示していますので、穂先の軌跡を確認しながら練習してみましょう。また下記の「成」に示したように縦と次の線に向かう動き(気脈)も大切です。次に向かう動きも意識してみましょう。



### ポイント

- ・筆の上部(筆軸のてっぺん)の位置。
- ・筆の上部の位置を確認して、筆を立てて書くことを意識しましょう。



### ポイント

- ・筆の毛がどこを通るのかを確認しながら書きましょう。
- ・線か次の線に向かう動き(気脈)も意識しましょう。

### ポイント

- ・「右上がり、太く力強く」のように気が付いた点をお手本に書き込んでいく習慣を身に付けましょう。この分析する習慣が美しい形を身に付けるうえで大切です。



一旦止めてから左斜め上にすくい上げるようにはおろす



弧を描くように



(2) 統一感のある余白を意識した「文字の大きさの調整」

① 画数の少ない漢字は、画数の多い漢字よりもやや小さく書く

画数の少ない漢字は、画数の多い漢字に比べ余白が大きくなります。

そこで、画数の少ない漢字を、画数の多い漢字よりもやや小さく書くことにより、余白が調整され、全体にまとまりが生まれます。

画数の少ない漢字は、画数の多い漢字よりもやや小さく書く

漢字の少ない漢字は、画数の多い漢字に比べ余白が大きくなります。

そこで、画数の少ない漢字を、画数の多い漢字よりもやや小さく書くことにより、余白が調整され、全体にまとまりが生まれます。

② ひらがな・カタカナは漢字よりもやや小さく書く

ひらがな・カタカナは基本的に漢字と比べて画数が少ないため、余白が大きくなります。

①に同じく余白のバランスにより、漢字よりもひらがなをやや小さく書くことでまとまりが生まれます。

ひらがな・カタカナは漢字よりもやや小さく書く

漢字・ひらがな・カタカナの  
横幅・縦幅を比べてみましょう

漢字よりもやや小さく書く



## 美しい漢字の法則(P.15の基礎編体系の図表も参照)

### 点画の調整

字形を整えるには、点画と点画との関係によって形や方向などを調整します。  
ここでは長短、方向、傾き方、交わり方、間隔について学習します。

#### ①点画の長短

##### 1 一面のみ強調させる

同じ方向に向いている画は、一面だけ長く書く(王・里・春・書・古など)  
反りほどの画よりも長く書きます(成・代・式など)

##### 2 一対を強調させる

左右の払い、曲がりなどは組み合わせは文字の最大幅とします(天・天・天など)

##### 3 その他の調整

α 複数の縦画がある場合は、右側の縦画を最も長く書きます(日・西など)

β 複数の縦画がある場合は、中心の縦画を長く書きます(山・雲・出など)

γ 複数の左払いや上下や斜めに並ぶ場合は、下の払いを長くします(成・形・行・昌・冬など)

◆上記法則を下の漢字で確認しましょう。

王	王		川	川	
里	里		山	山	
成	成		形	形	
交	交		行	行	

## ひらがな・カタカナの全体像

### ① 日本語におけるひらがなの重要性

- ① ひらがなは日本語の文章のなかでらう7割を占めるため、ひらがなを上手に書けることが文章を簡潔にさせる要素になります。
- ② 漢字が主として直線で構成される一方、ひらがなは曲線が多いため、漢字の横まりとひらがなの柔らかさの対比により、文全体に変化を与えます。

### ② ひらがなの特徴

- ① ひらがなと漢字の違いは、ひらがなは曲線が多く柔らかい。
- ② ①の特徴からパターン化が難しい。
- ③ 五十程度しか存在しない。

### ③ 特徴を踏まえたひらがなを練習する上での留意点

- ① 曲線の柔らかさに重点を置き練習しましょう。
- ② パターン化が難しい一方で、何程度しか存在しないため、本書のいろは歌練習ページを使用して美しい形を覚えましょう。

### ④ カタカナの特徴

- ① カタカナの特徴は、「直線に近い線と長い払い」によって構成されているため、ひらがなよりも漢字に近く、パターン化しやすいです。ひらがな同様、何程度しか存在しないため、何度も練習して確認していきましょう。

### ◆ ひらがなの特徴

あ  
か  
さ

た  
な

曲線が多く  
柔らかい

### ◆ カタカナの特徴

ア  
カ  
サ

夕  
十

直線に近い線と  
長い払いに  
よって構成

## 行書の基礎②・部首の崩しを覚える

部首の崩し方には数通りある場合があります。ここに掲載するものは実用面をよく出てるため、一つずつパターン化して覚えてしまいましょう。







〈楷書〉

内祝  
祝  
祝  
御  
出  
産

〈行書〉

内祝  
祝  
祝  
御  
出  
産

〈楷書〉

御祝  
御祝  
御  
礼  
粗  
品

〈行書〉

御祝  
御祝  
御  
礼  
粗  
品

祝儀に関連した語句練習

### 解説

祝儀袋では、御祝などの語があらかじめ印刷されて販売されていますが、このような文字もご自身で書けるようになると、実用面で活用できる幅が広がります。「御」の行書の崩し方を数通り掲載していますので、そちらも含め確認しながら、一通り練習してみましょう。

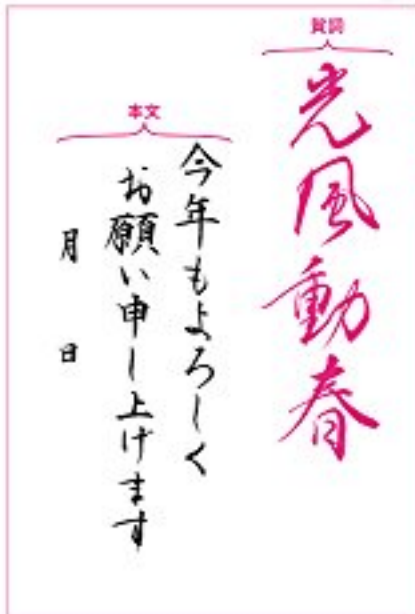
## 年賀状の形式

ここからは年賀状をみていきます。筆ペンや筆を使用し、オリジナルの年賀状を制作するのも楽しいものです。まずは年賀状の形式です。基本的な知識を身に付けましょう。

光風動春

※風動春の別例

### ◆年賀状の形式



### ◆賀詞について

年賀状は一般的に文頭に、**賀詞**を書きます。賀詞には、昔から伝えられてきたためたい語句や、よい文句を使います。

賀詞にはいろいろな形式があり、中国伝来の漢語や和文、あるいは「寿」「春」「賀」など、一字だけを置く場合もあります。

下記に様々な賀詞を掲載しましたのでご参考ください。

### 「様々な賀詞」

賀正	正月を祝う
賀春	初春を祝う
迎春	春をたたえる
迎春	初春をことばで
迎春	初春を迎える
迎春	初春をよめることば
迎春	よろこび祝う
賀春	長寿を祝う
賀春	初春をよめることば
賀春	長生をよめることば
壽正	正月をことばで
福寿	幸福で長生きする
福賀新年	福んで新年を祝う
福賀新年	福んで新春を祝う
福賀新年	うやうやしく新年を祝う
福賀新年	うやうやしく新春を祝う
敬謝新禧	新年の幸運をうやまいたたえる
長楽未央	楽しみが尽きないこと
萬壽無疆	万年も続く楽しみ
長生交泰	やすらかに長生きする
延年益壽	長生きすること
延年益壽	長寿を祝う
福氣東門	めでたいたしむしが門に集まる

新年のお慶びを申し上げます  
 年のはじめのお慶びを申し上げます  
 新春のお慶びを申し上げます  
 新春の御祝詞を申し上げます  
 福んで新年の御祝詞を申し上げます  
 福んで新春のお祝を申し上げます

## 年賀状・賀詞練習

ここではよく使用する賀詞の練習になります。それぞれ楷書および行書に送り行書を掲載しました。ワンポイント解説も参考にして練習してみましょう。

(楷書) (行書)



【書きのポイント】  
「迎」は、「じんじょう」をゆつたりと書いて横線を忘れました。うしろの「ん」は少しためた角度も練習しましょう。

(楷書) (行書)



【書きのポイント】  
「嘉」は横線を忘らして、「春」は末広がりを意識して練習しましょう。また「嘉」は横画が多いため横画同士の水白も意識しましょう。

(楷書) (行書)



【書きのポイント】  
「賀」は、「加」を横線に「頁」を縦線に書きバランスをとります。「正」は三角形の末広がりを意識しましょう。

(楷書) (行書)



【書きのポイント】  
「頌」は横と縦のバランスに気を付けましょう。「春」はやや小さめに書くことがバランスがよくなります。

(楷書) (行書)



【書きのポイント】  
「慶」は横画が多く難しい漢字です。左払い右払い、折折、曲がりなどは様々な角度で作り立っていますので、よく練習しましょう。

(楷書) (行書)



【書きのポイント】  
「寿」は長い左払いを伸び伸び書いて、「春」の左払いと対応するようにつまみ出すと文字全体のバランスがとれます。

◆ポイント

- 「結婚」と「幸」をアートブラッシュで目立たせた一筆箋。
- 伸びやかな品のある字形で仕上げた作例。

—筆箋：Hallmark EEM-622-916



◆ポイント

- 上記と同様に「結婚」と「幸」をアートブラッシュで目立たせた一筆箋。
- 字形は横長に統一し、二段に配置した作例。
- 「奈穂」と「ゆかのゆ」をやや大きめにしてデフォルメ。

—筆箋：Hallmark EEM-622-916



## 応用書編②・デザイン書の鑑賞と研究

ここからは、インパクトのある筆文字を見ていきます。

いわゆるデザイン書と呼ばれるもので、デザイン的な筆文字はその人の個性となりうると考えますので、下記の鑑賞ポイントを参考に研究してみましょう。

(デザイン書の鑑賞のポイント)

- ①字形：円形、長方形、台形など形はどうなっているか。
- ②線質：強い線、柔らかい線、太い細いなどどのように文字が構成されているか。
- ③余白：縦と横とできる余白はどうなっているか。

(84)



### ◆ポイント

- ①字形：円形。
- ②線質：軽快な線で動きを大きく。
- ③余白：力の上に行き止まる余白が、  
「動」の横画の右上がりに対し、力の右下がりの  
縦によりバランスをとっている。



### ◆ポイント

- ①字形：◇形。
- ②線質：力強い線。
- ③余白：面線を活かした様によるシャープな余白。  
力の最終面の払いを長めにする事で左の動との  
余白の違いに留意する。

(85)



### ◆ポイント

- ①字形：正方形。
- ②線質：ふくよかな線。
- ③余白：二つの三角形の余白。  
彩の「ノ、ツ」の部分で大きく書くことで、可  
愛らしいイメージになる。



### ◆ポイント

- ①字形：細長い台形。
- ②線質：柔らかい線。
- ③余白：木の枝のような余白。  
細めの柔らかい線で書くことで、しなやかな印象  
になる。